



クマタカ通信

vol.189 里山探検隊「ナンノ谷ウォーク」を開催！

2019年09月18日

クマタカ通信 vol.189

9月に入り、昼間は猛暑となる日もある中、ようやく朝晩に秋の虫が奏でるこの頃となりました。本号では、先月に行われた『里山探検隊「ナンノ谷ウォーク」』の活動をお伝えします。

里山探検隊「ナンノ谷ウォーク」を開催！ ～ナンノ谷大崩壊からの自然回復と、土砂災害を防ぐための歩みを学ぶ～



令和元年8月22日（木）に、里山探検隊「ナンノ谷ウォーク」を開催しました。

揖斐川町の坂内川上地区より夜叉ヶ池に向かって延びている「ナンノ谷」について、明治時代に起きた大崩壊の現状、平成30年9月の豪雨によって損壊した堰堤の復旧工事現場など、溪流に沿ってウォーキングで遊りながら訪れました。今回は17名が隊員となり、内8名は揖斐川流域の小学校の児童です。当日は、時間により雨の予報もありましたが、道中は5分程の小雨に止まり、太陽も雲の中で小休止。あまり暑さを感じずに歩く事が出来ました。

越美山系砂防事務所にて集合した後、バスに揺られて50分ほど、到着したのはナンノ谷の麓、夜叉龍神社。ここで本日訪れるナンノ谷について簡単に紹介し、出発進行！



道中は、土砂災害を防ぐためにナンノ谷に設置された数々の堰堤を見つつ、堰堤を間近で見られるナンノ谷第2砂防堰堤にて、いったん休憩。



再出発後、平成30年度の豪雨にて被災したナンノ谷砂防ダム3号の復旧工事現場を見学。さらには、明治時代のナンノ谷大崩壊から100年以上が過ぎ、自然回復している様子を実感しつつ、歩を進めていきます。



お昼に、ゴール地点であるナンノ谷砂防公園に到着。川の勾配を緩やかにして侵食を防ぐために床固工（とこがためこう）が整備されており、流量の少ないこの日は、河川内を散策する事が出来ました。お弁当を食べ、自然の景色を見ながらゆっくりと時間を過ごす人、河川を散策しながら川遊びを楽しむ人…日常から離れた晩夏のひとときを、思い思いに過ごしました。



<参加者の感想>

- ・わかりやすくて、小学生でも気軽に楽しめました。
- ・子供の学習のために来たが、タイムリーで良かった。自分にとっても勉強になりました。
- ・少し暑かったけど、風が心地よかった。お弁当もおいしく食べられました。

【実施概要】

日時 令和元年8月22日（木） 9時～14時
見学場所 ナンノ谷第2砂防堰堤
ナンノ谷砂防ダム3号災害復旧工事現場
ナンノ谷さぼろ公園（明治時代のナンノ谷大崩壊を起因とする天然ダム跡地）
参加人数 里山探検隊員17名、砂防ボランティア2名
協力 (株)久保田工務店

[Twitter、やっています♪](#)

越美山系砂防事務所が所管する揖斐川及び根尾川上流域の
砂防事業に関する情報を中心に発信しています。
みなさまのフォローをお待ちしております!



国土交通省 越美山系砂防事務所
@mlit_etsumisabo

発行 国土交通省中部地方整備局越美山系砂防事務所

〒501-0605 岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137
Tel:0585-22-2161 Fax:0585-22-2174
E-mail : cbr-etsumikouhou@mlit.go.jp

※クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。
※文中の敬称は省略しています。

国土交通省中部地方整備局 越美山系砂防事務所

〒501-0605 岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137番地
総務課 : 0585-22-2161 (代) 工務課 : 0585-22-2162 調査課 : 0585-22-2163

© 2018 Etsumi Sankei Sabo Office, Chubu Regional Development Bureau, MLIT / All rights reserved.